

葉ネギ栽培技術の習得と 適期作業実践による収量確保

湖北農業普及指導センター

【普及活動のねらい・対象】

S氏は、京都府の葉ネギ生産・加工法人で従事された後、知人の紹介で長浜市内の農地を借地し、令和5年4月に43aの露地葉ネギ(刈り取り)栽培で就農されました。

法人で葉ネギ栽培の一連の作業は経験されていましたが、経営主となり、一人で栽培されるのは初めてでした。そこで、作業計画の作成や適期作業が実践されるように支援しました。

特に、就農計画で立てた目標収量(2,400kg/10a/2回刈り取り)を確保するとともに、S氏が地域の担い手として位置づけられることを目指しました。

【普及活動の内容】

葉ネギ栽培で特に問題となる害虫(ハモグリバエ類、アザミウマ類など)の被害を防ぐため、現地巡回時に害虫の発生状況を調査し、薬剤防除の実践を呼び掛けました。また、周辺環境に配慮した殺虫剤を選択できるように、当センターで薬剤リストを作成・提供し、注意を促しました。

また、借地で安定した営農を行うために、長浜市、JA北びわこ、農業委員会等に対しS氏の情報提供を行い、農地がある集落の地域計画に位置付けられるよう調整しました。

さらに、S氏の就農計画に沿った機械導入に関し、制度資金、事業の活用等のアドバイスをを行いました。



写真1 葉ネギ収穫中のS氏

【普及活動の成果】

栽培期間を通して病虫害防除を適期かつ確実に実践された結果、病虫害被害はほとんど見られず、収量は、就農計画の目標より約15%増の2,765kg/10aを確保され、今後の営農への大きな自信につながり、次年度以降、段階的に葉ネギの栽培面積を100aまで拡大される予定です。

また、就農地の「地域計画」で担い手として位置づけられる方向となり、制度資金、事業を活用して、就農計画に沿った機械導入も実施されました。

◎対象者の意見

病虫害に関し情報を頂き、迅速に防除を行うことができました。また地域との接点を設けていただき感謝しています。(S氏)